

平成 24 年 12 月 1 日

社団法人日本クラシック音楽事業協会御中

有限会社アートリンクス
代表取締役社長 井坂仁志

こころの復興コンサート「心に花を咲かせよう」 実施報告

【実施概要】

●2012 年 10 月 27 日(土)

11:00-12:30 安積中学校合唱部との公開交換合唱ワークショップ<会場:安積中学校>

出演者: 山田和樹(指揮)、寺本沙綾香(ピアノ)

ハルモニア・アンサンブル(23名)

参加者数: 安積中学校合唱部(56名)、部員保護者(10名)

演奏曲: 「あすという日が」「心に花を咲かせよう」「上を向いて歩こう」「花は咲く」

●2012 年 10 月 28 日(日)

10:00-10:30 仮設住宅在住児童と合唱練習

11:00-12:00 こころの復興コンサート① <仮設住宅公共ゾーン WFP テント>

14:00-15:00 こころの復興コンサート② <仮設住宅公共ゾーン第三集会所>

出演者: 山田和樹(指揮) 寺本沙綾香(ピアノ)

心に花を咲かせよう合唱団(ハルモニア・アンサンブル [23名]、S.P.C.合唱団 [24名])、
演奏曲: 「あすという日が」「瑠璃色の地球」「切手のないおくりもの」「心の瞳」

「見上げてごらん夜の星を」「涙をこえて」「故郷」「心に花を咲かせよう」

アンコール「上を向いて歩こう」「もみじ」(会場の方と一緒に)

「花は咲く」(会場の方からの要望アンコール)

入場者数: コンサート①約 180名 ②約 60名

【目的】東日本大震災後に、山本瓊子による作詞、上田真樹による作曲によりつくられた「心に花を咲かせよう」をはじめとする合唱作品の演奏を通じ、被災地で今なお厳しい生活を余儀なくされている方々を力づける。27日の合唱ワークショップ、28日の子どもとの合唱練習では世界的に活躍している指揮者、山田和樹と近年注目されているプロ合唱団、ハルモニア・アンサンブルらともにリハーサル、歌唱を行うことにより、次世代を担う被災地の小中学生の心のケア、音楽的向上をねらう。

【当日の様子】

27日の合唱ワークショップでは、中学生の向上心が高く、参加者全員での熱意溢れる会場となり、大変貴重で良いものとなった。

28日の合唱コンサートでは、同地域での大きなお祭と同日程であったが、2回ともほぼ満席で多くの仮設住宅在住者、近隣住民の皆様に来場いただいた。

出演者紹介や曲紹介を混ぜつつ、親しみのある曲を多くプログラムし、堅苦しくないコンサートとなった。終盤では会場全体をつかって、お客様を合唱団が囲み歌った。「多方面から歌声が聞こえて、初めての感覚で感動した。また来てほしい」と大変喜んでいただいた。

1回目と2回目と、2か所の会場で実施したが、違った良い雰囲気を会場全体で作りあげた。特に2回目のコンサートでは、会場が小さいこともありアットホームな雰囲気で、アンコールではお客様からのリクエストを受け、会場全体で歌ったりと音楽で心を通わせる事ができ、出演者も観客もともに元気をわかちあうことができた。

郡山市安積中学ワークショップ



仮設住宅公共ゾーン WFP テント



仮設住宅公共ゾーン第三集会所



【助成対象経費報告】

10月27～28日 交通費

ハルモニア・アンサンブル（合唱／23名）

山田和樹（指揮）、寺本沙綾香（ピアノ）、井坂仁志（同行者／有限会社アートリンクス）

往路 東京駅→郡山駅（新幹線団体料金） 198,250円

郡山山駅→仙台駅（新幹線団体料金） 130,260円

仙台駅→亶理町（チャーターバス） 99,750円

復路 亶理町→仙台駅（チャーターバス） 105,000円

仙台駅→東京駅（新幹線団体料金） 260,260円

小計：793,520円／うち、心の復興音楽基金からの支援額 300,000円

以上